

第33回世界コンピュータ将棋選手権

baron

アピール文書

2023年4月18日 湯川和雄

【開発者の言葉】

参加は2回目になります。wcsc32はチームで参加いたしました。

今年は個人で参加いたします。

昨年は会場で参加いたしまして、開発者の方からディープラーニングの学習方法や教師データなど、ご教示いただき参考にさせていただきました。

今年はオンラインで参加いたします。

baronの棋力としてはfloodgateのレートで、昨年は2000前後、今年は3200前後かと思われます。

第3回世界将棋AI電竜戦本戦から大きな違いはありません。全く同じというのも忍びないので、定跡部分は最新の棋譜データなどを使い、手を加えてみようと考えております。

少し足掻いてみようと思い、追加学習もしてみました。(2023/04/18)

【baronの由来】

baronと書いて「ばろん」と読みます。

漢字で書くと、馬の狼で「馬狼(ばろん)」です。牙の狼ではないです。

将棋の馬って強いんですよね。将棋は角(馬)の働き次第、と感じてしまうぐらい強いです、金銀3枚分ぐらいの強さでしょうか。

馬の狼だともっと強そうです。

baronの意味を調べると、男爵(だんしゃく、英:baron)と出てきます。将棋男爵ってカッコいいです。

『〇をすませば』にでてくるバロンもカッコいいです。

【第3回世界将棋AI電竜戦本戦アピール文書】

<https://drive.google.com/file/d/14hTVA0b6HC-tBly7cWVin-jUPRhj82bh/view>

【独自の工夫】

独自の定跡処理を搭載しております。

多少のランダム性の確保もしております。

定跡を約4万局登録。手数では約600万手登録。

大会に向けて最新の棋譜データを取り入れたものにしたいと思います。

【ベース】

ベースは「将棋AIで学ぶディープラーニング」「強い将棋ソフトの創り方」の著書を参考にさせていただいております。

【系統】ディープラーニング系ソフト

【開発言語】Python

【学習環境】GoogleColabPro/Pro+

【使用・参考にしたライブラリ】pytorch、python-shogi、cshogi、dlshogi、dlshogi2

【開発者Twitter】

https://twitter.com/k_yuka_2020